

# 「学びに向かう力」の育成～「主体的な学び」へ導く学習指導の工夫～

平成30年度 大津町小中学校共通実践事項

(1)話し手に体を向けて聞く (2)「めあて」と「まとめ」の明示 (3)家庭学習の習慣

10月3日(木)

徳淵

通信…だいぶサボってしまいました。いよいよ、今年度10号の大台です。

## 目指す児童の姿～9月25日校内研をうけて～

校内研で目指す児童の姿について再検討していただきました。

先生方から、抽象的な姿よりも、具体的な児童の姿（言動）の方がいいというご意見をいただき、それに沿って検討していただきました。

	低学年部	中学年部	高学年部
わくわくしている姿	「同じ」「違う」見方を働かせ、「前はこうだったよね。」と言える姿	期待を持って、みんなの顔が上がっている姿	目的・課題に向かって、自分の考えを表現（表情・つぶやきなど）している姿
試行錯誤しようとしている姿	友だちの考えを聞きながら、「でも…」や「だって…」等で、自分の考えを伝える姿	自分の考えを表現する姿（伝える 書く）	意見の違いを認め合いながら、自分の考えを伝えている姿
理解が深まった姿	なぜそうなるのかを、自分の言葉で言える姿	「あっ！そういうことね」、「分かった」、「分からない」をつぶやく姿	分かったことと、分からないことを区別し、自分の課題を見つける姿
学びを広げようとする姿	「もっとやってみたい。」とつぶやく姿	振り返りで学び取ったことを伝え合う姿	相手意識を持って、分かったことを伝えている姿

具体的に検討していただいたことで、今の目の前の子どもたちが目指す姿を見せているかも振り返ってもらえたと思います。

まずは、4月に比べ、高まっているところに目を向けてください。そこに、先生方の授業や学級経営の工夫・こだわりがあると思います。その部分を日頃の学年会や雑談の中で共有し合うことも大事だと思います。

次に、これから取り組む課題を整理してください。課題を挙げ出すときりが無いので、少なく絞ることが大切だと思います。そして、今日から継続して取り組む学級経営・授業作りの視点を持つことが大事だと思います。

教頭先生発行のFOCUS (No.2) にもありましたが、子どもたちの変容・成長に気付き、何度も賞賛することは必須です。子どもたちを褒めることで、先生自身の工夫した取組がはっきり見えるのではないかと思います。